

## SC販売統計調査報告 2018年4月

既存SC前年同月比 : +1.0%

テナントが堅調で、前年同月を3ヶ月連続で上回る

### <全体概況>

- ・4月度の既存SC売上高は、総合で前年同月比+1.0%と3ヶ月連続で前年を上回った。テナントが同+1.5%、キーテナントが同▲1.4%となり、テナントが全体を牽引した。GW前半にあたる休日が前年は2日だったのに対し、今年は3日となったことに加え、好天に恵まれたため、行楽客の来館が多いSCでは土産物や飲食などを中心に好調であった。
- ・立地別・構成別(表1)では、中心地域は総合で同+2.9%となった。中都市のキーテナントが前年同月比▲5.2%と苦戦したものの、大都市が好調であった。一方で、周辺地域は総合で同+0.1%と前年並みだった。テナントは全ての立地で前年を上回ったが、キーテナントはインバウンド効果などにより比較的好調に推移している中心地域・大都市が同+3.7%であったほかは、特に中心地域・中都市は同▲5.2%と苦戦した。
- ・立地別・地域別(表2)では、全9地域のうち、中国(前年同月比▲1.3%)、四国(同▲1.2%)で前年を下回ったが、その他7地域は前年を上回り、全国的に堅調だった。東北・中心地域は各SCで好不調の明暗は分かれたものの全体としては同+7.2%と、前月(同+8.7%)に続き好調を維持した。近畿・中心地域も駅ビルや地下街がリニューアル効果により売上を伸ばし同+7.8%(前月+6.3%)と好調であった。
- ・都市規模別(表3)では、政令指定都市の総合が前年同月比+2.2%と好調であったが、その他の地域は同+0.0%(+0.04%)で前年並だった。キーテナントは全国的に苦戦し、特に「その他の地域」では、9地区中、北陸(+0.6%)を除く8地区で前年を下回った。
- ・業種毎の販売動向をみると、テナントでは飲食、サービス、雑貨が好調、婦人衣料が不振と回答したSCが多かった。

※サンプル数:503SC (回収率50.3%)

※本調査は、2016年12月末現在の全SC3,211SCの中から立地別・SC規模別に1,000SCをサンプル抽出し、調査したものをまとめた。

※当協会のSC販売統計調査報告は、政府統計に合わせて消費税を含めて算出しております。

表-1 立地別・構成別 売上高伸長率

立地	SC数	総合	テナント	キーテナント
総合	503	1.0	1.5	▲1.4
地中 域心	大都市	69	4.3	3.7
	中都市	70	▲0.3	▲5.2
	小計	139	2.9	▲0.1
周辺地域	364	0.1	0.6	▲1.6

(注)

#### ■立地

中心地域:人口15万人以上の都市(東京23区を含む162都市)で、商業機能が集積した中心市街地  
周辺地域:上記中心地域以外の全ての地域

#### ■都市規模

大都市:札幌・仙台・千葉・東京区部・川崎・横浜・名古屋・京都・大阪・神戸・広島・福岡・北九州の各市  
中都市:上記都市を除く人口15万人以上の都市

表-2 立地別・地域別 売上高伸長率

地域	総合	北海道	東北	関東	中部	北陸	近畿	中国	四国	九州・沖縄
立地(SC数)										
総合	503	1.0	2.4	1.7	0.7	0.9	2.3	1.5	▲1.3	▲1.2
中心地域	139	2.9	1.7	7.2	0.9	2.7	4.8	7.8	3.8	▲2.7
周辺地域	364	0.1	3.8	▲0.4	0.7	0.4	1.6	▲0.7	▲3.0	▲0.9
(SC数)	503	17	30	199	60	32	88	30	12	35

(注)

#### ■地域

北海道:北海道  
東北:青森県・岩手県・宮城県・秋田県・山形県・福島県  
関東:茨城県・栃木県・群馬県・埼玉県・千葉県・東京都・神奈川県・山梨県  
北陸:新潟県・富山県・石川県・福井県  
中部:長野県・岐阜県・静岡県・愛知県・三重県  
近畿:滋賀県・京都府・大阪府・兵庫県・奈良県・和歌山県  
中国:鳥取県・島根県・岡山県・広島県・山口県  
四国:徳島県・香川県・愛媛県・高知県  
九州・沖縄:福岡県・佐賀県・長崎県・熊本県・大分県・宮崎県・鹿児島県・沖縄県

表-3 都市規模別・地域別  
売上高伸長率

都 市	SC数	総 合	テナント	キーテナント	
総 合	503	1.0	1.5	▲ 1.4	
政 令 指 定 都 市	札幌市	11	1.9	1.9	-
	仙台市	5	5.6	5.6	-
	千葉市	6	5.3	5.3	-
	東京区部	56	1.4	1.0	3.0
	横浜市	15	0.0	0.7	▲ 3.8
	川崎市	9	4.1	5.3	▲ 10.0
	名古屋市	12	0.1	0.1	0.3
	京都市	7	▲ 0.8	0.4	▲ 2.9
	大阪市	21	6.0	6.6	▲ 1.8
	神戸市	16	1.3	2.0	▲ 2.9
	広島市	9	▲ 3.8	▲ 3.8	▲ 4.4
	北九州市	2	1.8	3.0	▲ 6.9
	福岡市	9	6.6	7.1	0.6
	小 計	178	2.2	2.5	▲ 0.1
そ の 他 の 地 域	北海道	6	4.6	5.8	▲ 3.4
	東北	25	0.2	1.3	▲ 2.4
	関東	113	▲ 0.1	0.2	▲ 1.4
	中部	48	1.2	2.6	▲ 4.0
	北陸	32	2.3	3.3	0.6
	近畿	44	▲ 0.8	▲ 0.2	▲ 2.5
	中国	21	▲ 0.5	0.2	▲ 2.7
	四国	12	▲ 1.2	▲ 0.4	▲ 2.0
	九州・沖縄	24	▲ 0.7	▲ 0.6	▲ 0.9
小 計	325	0.0	0.7	▲ 1.9	

※「その他の地域」には、政令指定都市は含まない。

※2003年以降、さいたま市、静岡市、浜松市、新潟市、

堺市、岡山市が、2010年4月は相模原市が、2012年4月は  
熊本市が政令指定都市となったが、さいたま市、相模原市は  
関東地域、静岡市・浜松市は中部地域、新潟市は北陸地域、  
堺市は近畿地域、岡山市は中国地域、熊本市は  
九州・沖縄地域に含めた。

表-4 キーテナント業態別  
売上高伸長率

キー業態	SC数	%
総 合	503	1.0
核なし	283	2.6
1 核	Dpt	13 ▲ 0.3
	GMS	118 ▲ 2.0
	SM	38 ▲ 1.2
	SS	2 ▲ 2.9
	HC	1 ▲ 0.1
	専門店	2 4.4
	生協	5 ▲ 2.1
	Dgs	3 6.1
	小 計	182 ▲ 1.5
	2 核	Dpt+SM
GMS+SM		2 1.1
GMS+HC		1 2.0
GMS+専門店		5 1.2
SM+SS		2 ▲ 0.9
SM+HC		1 6.0
SM+DS		1 0.3
SM+専門店		7 ▲ 5.5
生協+HC		1 ▲ 0.1
その他		7 3.1
小 計	29 0.1	
3核以上	Dpt+GMS+HC	1 ▲ 5.9
	その他	8 ▲ 1.2
小 計	9 ▲ 1.5	

表-5 立地別SC・テナント・キーテナント効率

立地(SC数)	売上高・店舗面積		売上高		店舗面積		1SC当り売上高 (千円)	坪効率 (千円)	1SC当り 平均面積 (㎡)
			(千円)	前年比	(実効㎡)	前年比			
S C 総 合	総 合	503	529,766,478	1.0	9,909,447	0.6	1,053,214	176	19,701
	中心地域	139	165,633,075	2.9	1,904,279	0.5	1,191,605	287	13,700
	大都市	69	115,755,187	4.3	1,111,377	0.9	1,677,611	344	16,107
	中都市	70	49,877,888	▲ 0.3	792,903	0.1	712,541	208	11,327
	周辺地域	364	364,133,403	0.1	8,005,167	0.6	1,000,366	150	21,992
テ ナ ン ト	総 合	503	428,378,084	1.5	7,303,331	1.2	851,646	194	14,520
	中心地域	139	152,031,265	3.1	1,731,495	0.6	1,093,750	290	12,457
	大都市	69	107,712,560	4.3	1,051,838	0.9	1,561,052	338	15,244
	中都市	70	44,318,705	0.4	679,658	0.1	633,124	215	9,709
	周辺地域	364	276,346,819	0.6	5,571,835	1.4	759,195	164	15,307
キ ー テ ナ ン ト	総 合	220	101,388,394	▲ 1.4	2,606,116	▲ 1.0	460,856	128	11,846
	中心地域	18	13,601,810	▲ 0.1	172,784	0.0	755,656	260	9,599
	大都市	3	8,042,627	3.7	59,539	0.0	2,680,876	446	19,846
	中都市	15	5,559,183	▲ 5.2	113,245	0.0	370,612	162	7,550
	周辺地域	202	87,786,584	▲ 1.6	2,433,332	▲ 1.1	434,587	119	12,046

注:売上高(総合)は、調査対象503SCの合計値です。

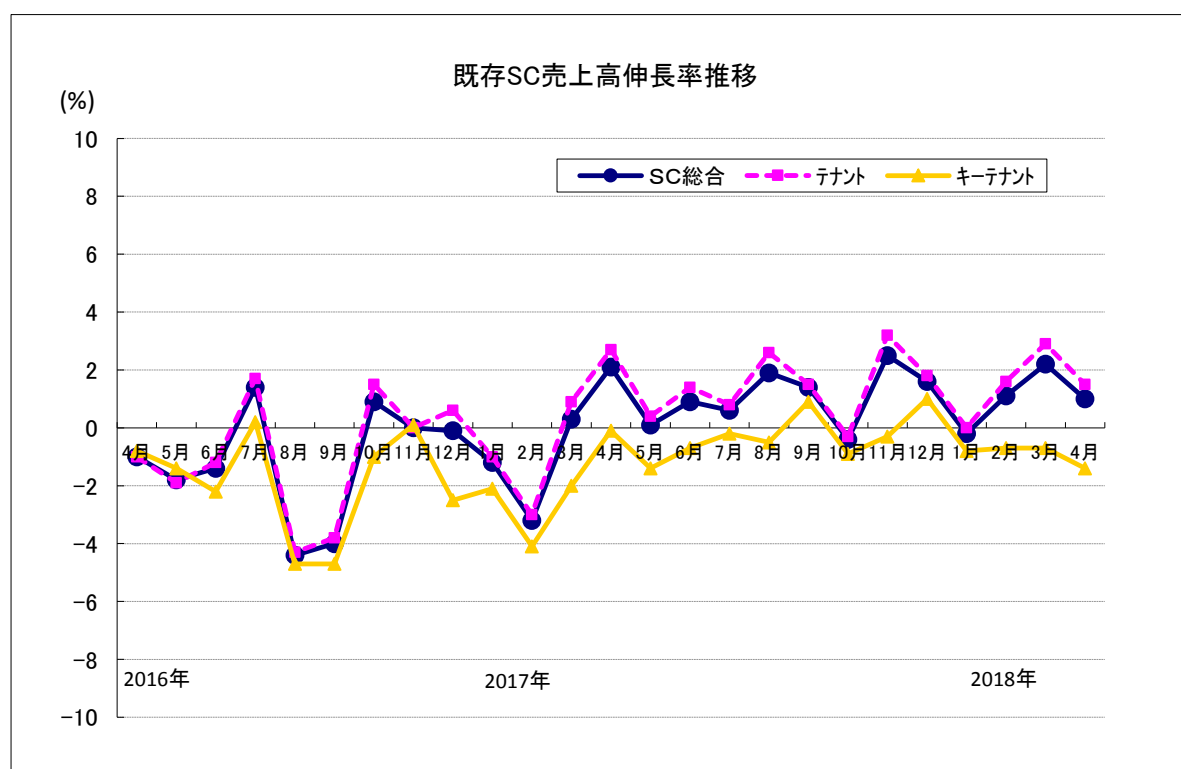


表-6 SC・百貨店・チェーンストア 売上高前年対比

		S C			百貨店	チェーン ストア
		既存SC				
		SC総合	テナント	キーテナント		
年別	00年	▲ 3.4	▲ 3.1	▲ 3.7	▲ 2.2	▲ 5.1
	01年	▲ 2.2	▲ 1.4	▲ 3.3	▲ 0.4	▲ 5.2
	02年	▲ 2.1	▲ 2.1	▲ 2.1	▲ 2.3	▲ 2.1
	03年	▲ 1.6	▲ 0.8	▲ 2.4	▲ 2.8	▲ 3.2
	04年	▲ 1.7	▲ 0.9	▲ 2.9	▲ 2.8	▲ 3.5
	05年	0.3	1.5	▲ 1.9	▲ 0.2	▲ 2.6
	06年	0.3	0.9	▲ 0.7	▲ 0.7	▲ 2.7
	07年	0.0	0.3	▲ 0.6	▲ 0.5	▲ 1.4
	08年	▲ 1.5	▲ 1.1	▲ 2.3	▲ 4.3	▲ 0.7
	09年	▲ 6.8	▲ 6.5	▲ 7.4	▲ 10.1	▲ 4.3
	10年	▲ 2.0	▲ 1.7	▲ 2.8	▲ 3.1	▲ 2.6
	11年	▲ 1.3	▲ 1.1	▲ 1.5	▲ 2.0	▲ 0.8
	12年	0.5	1.5	▲ 1.6	0.3	▲ 1.9
	13年	▲ 0.5	▲ 0.1	▲ 1.3	1.6	▲ 0.7
	14年	0.1	0.5	▲ 0.9	0.3	▲ 0.6
	15年	0.0	0.3	▲ 0.6	▲ 0.2	0.7
	16年	▲ 1.1	▲ 0.9	▲ 1.4	▲ 2.9	▲ 0.4
17年	0.6	1.0	▲ 0.9	0.1	▲ 0.9	
2016上半期	(1～6月)	▲ 0.9	▲ 0.9	▲ 0.9	▲ 2.8	0.4
2016下半期	(7～12月)	▲ 1.1	▲ 0.8	▲ 2.0	▲ 2.9	▲ 1.1
2017上半期	(1～6月)	▲ 0.2	0.2	▲ 1.7	▲ 0.3	▲ 1.5
2017下半期	(7～12月)	1.2	1.6	▲ 0.2	0.5	▲ 1.7
2016四半期別	(1～3月)	▲ 0.3	▲ 0.3	▲ 0.2	▲ 1.6	1.7
	(4～6月)	▲ 1.6	▲ 1.6	▲ 1.4	▲ 4.1	▲ 0.8
	(7～9月)	▲ 2.4	▲ 2.3	▲ 2.9	▲ 3.4	▲ 2.0
	(10～12月)	0.3	0.6	▲ 1.1	▲ 2.5	▲ 0.3
2017四半期別	(1～3月)	▲ 1.3	▲ 1.0	▲ 2.7	▲ 1.2	▲ 2.2
	(4～6月)	1.0	1.4	▲ 0.6	0.7	▲ 0.8
	(7～9月)	1.3	1.6	0.1	1.2	▲ 0.3
	(10～12月)	1.2	1.6	▲ 0.4	▲ 0.1	▲ 0.4
2016 月別	1月	0.9	0.8	1.3	▲ 1.9	2.3
	2月	0.3	▲ 0.1	1.4	0.2	3.4
	3月	▲ 2.1	▲ 1.8	▲ 3.3	▲ 2.9	▲ 0.3
	4月	▲ 1.0	▲ 1.0	▲ 0.8	▲ 3.8	▲ 0.7
	5月	▲ 1.8	▲ 1.9	▲ 1.4	▲ 5.1	▲ 1.3
	6月	▲ 1.4	▲ 1.2	▲ 2.2	▲ 3.5	▲ 0.5
	7月	1.4	1.7	0.2	▲ 0.1	0.2
	8月	▲ 4.4	▲ 4.3	▲ 4.7	▲ 6.0	▲ 2.9
	9月	▲ 4.0	▲ 3.8	▲ 4.7	▲ 5.0	▲ 3.2
	10月	0.9	1.5	▲ 1.0	▲ 3.9	0.6
	11月	0.0	0.0	0.1	▲ 2.4	0.8
	12月	▲ 0.1	0.6	▲ 2.5	▲ 1.7	▲ 2.0
2017 月別	1月	▲ 1.2	▲ 1.0	▲ 2.1	▲ 1.2	▲ 1.6
	2月	▲ 3.2	▲ 3.0	▲ 4.1	▲ 1.7	▲ 3.3
	3月	0.3	0.9	▲ 2.0	▲ 0.9	▲ 1.8
	4月	2.1	2.7	▲ 0.1	0.7	0.6
	5月	0.1	0.4	▲ 1.4	0.0	▲ 1.8
	6月	0.9	1.4	▲ 0.7	1.4	▲ 1.2
	7月	0.6	0.8	▲ 0.2	▲ 1.4	0.0
	8月	1.9	2.6	▲ 0.5	2.0	▲ 0.5
	9月	1.4	1.5	0.9	4.0	▲ 0.3
	10月	▲ 0.4	▲ 0.3	▲ 0.9	▲ 1.8	▲ 1.9
	11月	2.5	3.2	▲ 0.3	2.2	▲ 0.6
	12月	1.6	1.8	1.0	▲ 0.6	0.9
2018 月別	1月	▲ 0.2	0.0	▲ 0.8	▲ 1.2	0.6
	2月	1.1	1.6	▲ 0.7	▲ 0.9	1.3
	3月	2.2	2.9	▲ 0.7	0.1	▲ 0.1
	4月	1.0	1.5	▲ 1.4		
出典	日本ショッピングセンター協会			百貨店協会	チェーンストア協会	